

北海道新聞

平岸の歴史を訪ねて

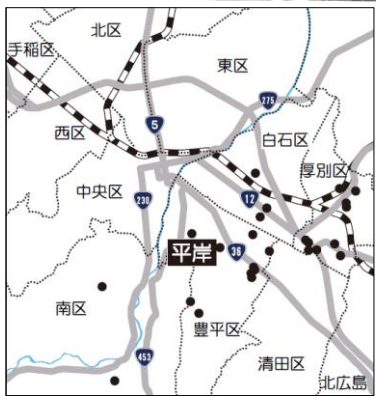
縄文・古代史編

第10回、縄文時代の札幌

今から約1万5千年前、氷河期が終わりマンモスなどの大型動物が絶滅すると人類はそれまでの狩猟に頼った生活を一変させなければなりません。氷河期に広大な草原が広がっていた北海道は気候の温暖化とともに落葉樹の森林へと姿を変えます。彼らは、この広大な森の恵みを生かす新たな装置を開発しました。縄文土器です。土器を使用することによって加熱によるアク抜きや煮沸、煮炊きが可能となり、ドングリ・クリなどの木の实、貝類を含めた魚介類、山菜、根菜など多種多様な動植物が食糧として活用できるようになりました。世界で最も古く調理に使われた跡が残る土器が見つかっているのは、帯広市の大正遺跡(1万4千年前)です。縄文土器はあつという間に日本中に広まります。当時の北海道は世界に先駆けた技術を生み出した文化の先進地だったといえるでしょう。これが契機となって定住化がすすみ、各地で竪穴住居により構成される縄文集落が形成されます。この頃の遺跡が札幌近郊でも数多く発見されています。

札幌近郊の縄文時代の遺跡の移り変わりを時代順に見ていきましょう(図1)。縄文時代早期(8千年前)の遺跡は上野幌く羊ヶ丘く西岡く平岸周辺の市内南東部のみに限定されています。縄文時代前期(6千年前)では発寒地区と平岸以外遺跡はありません。縄文時代中期(5千年前)は縄文期を通じて最も多くの遺跡が見つかっており、北は手稲前田から南は藤野まで幅広く遺跡が分布しています。縄文時代後期(4千年前)から晩期(3千年前)には遺跡の数は減少していきます。

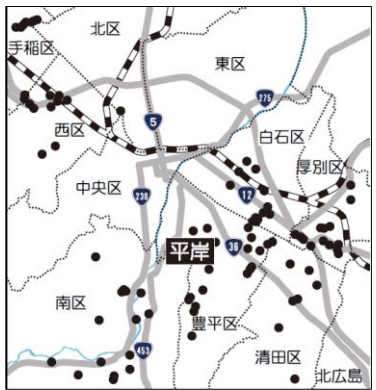
図1. 縄文時代の札幌近郊の遺跡の分布(新札幌市史第1巻付録をもとに作成)



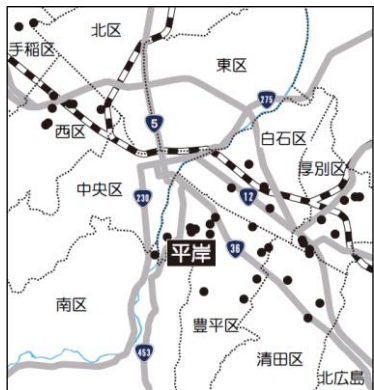
縄文時代早期(8,000年前)



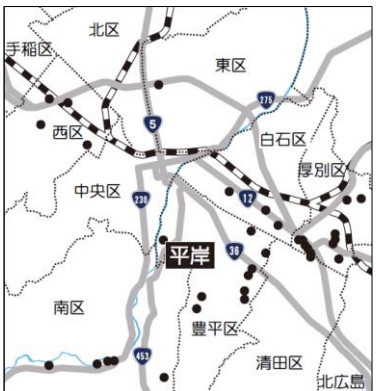
縄文時代前期(6,000年前)



縄文時代中期(5,000年前)



縄文時代後期(4,000年前)



縄文時代晩期(3,000年前)

ひとくちに縄文時代といっても、時期によって居住地域が大きく変わっていたことがわかります。その中で平岸は晩期を除く全ての時代の遺跡が見つかっており、札幌の中でもきわめて安定して住みやすかった場所であったことがわかります。また、現在多くの人が暮らしている中央区・東区・北区ではほとんど遺跡が見つかっていません。中央区の1帯は以前の連載で述べたように豊平川の扇状地にあたり、堤防ができる以前は大雨のたびに洪水に襲われる危険な場所でした。また、縄文時代中期は気候の温暖化により現在より海面が3mほど高く(縄文海進)、今の北区・東区あたりは大きな内湾になっていました(図2)。その後、寒冷化とともに海岸は後退し、内湾は今のサロマ湖のようなラグーン(潟湖)になり、4千年前には埋め立てられて泥炭地となります。したがって縄文時代にはこれらの地域は住むのに適さず、遺跡の空白地域となっているのです。縄文時代中期は比較的温暖な気候が長く続き、札幌だけでなく全国的にも最も多くの遺跡が見つかっていることから縄文時代でもっとも人口が増えた暮らしやすい時代でした。その後の寒冷化により、人口も減少しました。人類の歴史の中で右肩上がりに人口が増加するようになったのは安定的に食料を手に入れられるようになった近代以降のごく最近のことに過ぎず、それ以前は気候の変動などの外的要因に大きく左右されてきました。

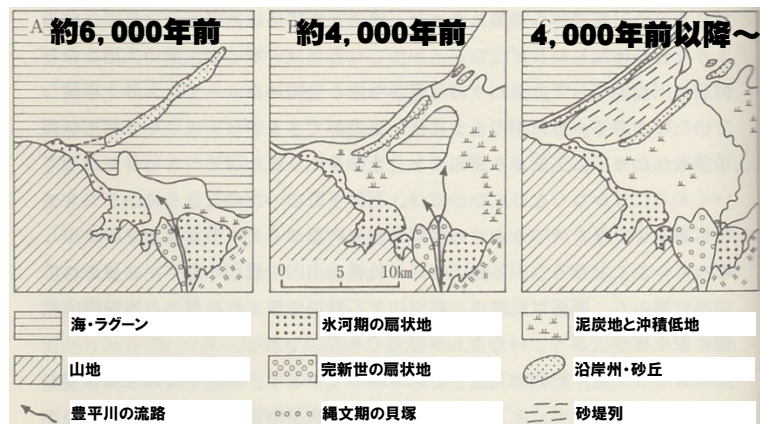


図2. 縄文時代の札幌近郊の古環境の変遷
(北海道の自然史6ページより引用)

参考資料 『新札幌市史第1巻通史1』: 北海道新聞社、1039 pp.

『北海道の自然史 氷期の森林を旅する』: 小野有五・五十嵐八枝子、北海道大学図書刊行会、219 pp.

『新版 北海道の歴史 上 古代・中世・近世編』: 北海道新聞社、515 pp.

バックナンバーお届けいたします。ご希望の方は販売所までお気軽にご連絡ください。ご自宅までお届けいたします。

【編集後記】 Think globally. Act locally. ~

表題は私が学生時代に同じ学科の教授が口癖のように言っていたものです。自分の研究の意義をグローバルな大きい視点で捉えながら、かつ足元のローカルな事象に心を配れという意味で使われていました。この連載は身近な歴史を紹介するのが目的ですが、できるだけ世界的・日本史的な大きな流れの中で平岸の歴史がどう位置づけられるかを意識しながら紹介できればと思います。

執筆者: 道新永田販売所営業主任 伴野卓磨

1977年室蘭市生まれ。金沢大学理学部地球

学科博士課程(古生物学専攻)を修了後、六花亭

に入社。2011年より現職。

◇発行元◇

(有)北海道新聞永田販売所

〒062-0936

札幌市豊平区平岸6条13丁目7-18

TEL: 0120-128-348

FOX: 0120-128-358

◆この連載は毎月1日・15日の北海道新聞朝刊に折り込みしております